



## アメリカ経済への考察

令和7年1月4日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

ウォール・ストリートに集まる世界の資本は彼らの経済の形成を与えるものである。

それらが彼らの有する優れた大学における研究基盤を経て、産業における先端性を構築する。

優秀な人材は自らのキャリアを求め、ビジネスの飛び込むのである。創造性という彼らの文化の土壌は、自由経済システムにおいてその隆盛を得るのである。

これらは競争原理と成功というアメリカンドリームの実現である。唯一これらが他方において格差社会を生むのである。

しかし成功が牽引する彼らの経済は成功したと考えられる。彼らの有する先端産業に比することは世界のすべての国家が不可能なのである。

これらは自由貿易システムにおいて世界の席卷することが今日の世界の現実である。トランプ大統領の一国主義が彼らの経済に与える影響は、世界の資本がアメリカから離れることにあると考えられる。

またこれらは明らかに自由貿易システムの崩壊であり、世界の秩序の崩壊なのである。これはアメリカのプレゼンスにおいて支えられる世界が、アメリカを失うためなのである。

アメリカというスーパーパワーが、世界を放棄して、自国の未来を求めるとき、すべての国家が自己の蜂起とともに、新しい世界が与えられることは必ず存在するのである。

これらは先進国が独占した過去は今日完全に崩壊しているのである。

これらは未知という新しい未来が存在することを意味するものである。これら不確定な未来という新しい現実には必ず変化を有するはずである。

経済は偉大な手段である。それは豊かさを有するためである。